

3年次演習

第2回
研究論文の読み方
人間科学科コミュニケーション専攻
白銀 純子

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

今回の内容

- ★論文とは？
- ★論文の種類
- ★論文の読み方

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

論文とは？

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

「論文」とは？

- ★研究者たちが研究の内容をまとめたもの
- ★分類
 - ✓学位論文
 - ✓ジャーナル論文
 - ✓プロシーディング(Proceeding)
 - ✓ポジションペーパー
 - ✓レター論文
 - ✓サーベイ(レビュー)論文

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

学位論文

- ★学位(学士 or 修士 or 博士)を取得するためにまとめた論文
- ★各大学に提出し、大学が保管
- ★おおむね数十ページ
- ★大学により、公開されている場合と非公開の場合
 - ✓入手できる場合とできない場合どちらもあり

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

ジャーナル論文

- ★学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
 - ✓論文誌: 学術雑誌とも
- ★研究の問題意識や目的、手法、評価、考察など、論文として書くべき内容すべてが記述されたもの
- ★複数の第三者から査読され、認められたもの
 - ✓査読: 第三者によって論文が読まれて評価されること
- ★一般的には他の分類の論文よりも査読が厳密で、質が高
 - ✓ただし、質は掲載される論文誌のレベルにも依存
- ★多くの場合、8ページ～十数ページ程度
- ★研究としての終着点

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

プロシーディング(Proceeding)

- ★ 口頭発表の会議で発表された論文
 - ✓ 会議で発表された論文をあつめて冊子にしたものを「予稿集」または「プロシーディングス(Proceedings)」
- ★ 研究の問題意識や目的、手法、評価、考察など、論文として書くべき内容すべてが記述されることもあり、評価・考察までではないものもあり
- ★ 第三者からの査読がされる場合もされない場合もあり
 - ✓ 査読がされる場合の厳密さは、会議のレベルに依存
- ★ 研究のある程度の成果を発表したもの
 - ✓ 考え方によっては、ジャーナル論文に向けての途中の成果
- ★ 多くの場合、6～十数ページ程度

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

ポジションペーパー

- ★ 「ワークショップ」という形式の会議で発表した論文
 - ✓ ワークショップ: 個々のアイデアを持ち寄ってディスカッションをする形式の会議
 - ✓ 他の口頭発表の会議は、発表して質疑応答で終わり
- ★ 研究のアイデアレベルの内容が記述
 - ✓ 研究の問題意識や目的が記述されていて、手法は記述があつたりなかったり
- ★ 多くの場合査読はなし
 - ✓ ワークショップのテーマに沿っている論文か、公序良俗に反しないか、程度の確認がされることはあり
- ★ 多くの場合、2～4ページ程度

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

レター論文

- ★ 学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
- ★ 速報性が重要視
 - ✓ ジャーナル論文のような厳密性(書き方や評価・考察の客観性など)はそれほど求められない
- ★ 第三者から査読され、認められたもの
- ★ 多くの場合、2～4ページ程度

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

サーベイ(レビュー)論文

- ★ 学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
- ★ 研究成果に関する論文ではなく、様々な他者の論文の紹介
- ★ 第三者から査読され、認められたもの
- ★ 多くの場合、8～十数ページ程度

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

論文の読み方

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

読むべき論文と見分け方は?

- ★ 読むべき論文
 - ✓ とりあえずはジャーナル論文とプロシーディング
- ★ 見分け方
 - ✓ 6ページ以上、なるべく8ページ以上
 - ✓ かつ、研究の紹介に終始していない論文

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

ライバル論文とお勉強論文

- ★ 自分の研究テーマに照らし合わせると、論文は2種類!
 - ✓ ライバル論文とお勉強論文

★ ライバル論文

- ✓ 自分の研究テーマと共通する研究テーマの論文
 - ★ 問題意識や目的などが共通
- ✓ 書いてある内容を疑って読むこと(批判的に読むこと)が必要

★ お勉強論文

- ✓ 自分の知識を蓄えたり、研究の中で利用する手法を勉強したりするための論文
 - ★ 自分の研究テーマとはまったく関係ないこともありえる
- ✓ 内容を理解し、自分の研究で使えるかどうかを考えることが必要

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

論文を読んで理解するもの

- ★ 著者にとっての問題意識は何か?
- ★ 研究の目的は何か?
- ★ 研究の対象範囲(スコープ)はどのようなものか? → 第1章・第2章あたり
- ★ どのような手段で目的を達成しているか? → それ以外(間の章)
- ★ 研究の結果について、著者はどのように考えているか? → 最後の1・2章あたり

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

問題意識と目的

- ★ 論文の著者にとっての問題意識
 - ✓ 著者は、現状の世の中がどうなっていると考えているか?
 - ✓ 著者は、世の中の何が問題と考えているか?
- ★ 研究の目的
 - ✓ 問題解決のために、著者は何を目的と定めたか?
 - ✓ 目的を達成することで、どんな利点があると著者は考えているか?

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

問題意識と目的(ライバル論文だと...)

- ★ 論文の著者にとっての問題意識
 - ✓ 著者は、現状の世の中がどうなっていると考えているか?
 - ✓ 著者は、世の中の何が問題と考えているか?
 - 現状認識は正しい? → 自分が認識している現状や問題点と一致している?
 - 本当にそれは問題?
- ★ 研究の目的
 - ✓ 問題解決のために、著者は何を目的と定めたか?
 - ✓ 目的を達成することで、どんな利点があると著者は考えているか?
 - 本当にその目的を達成すると、問題解決になるの?
 - なぜ、それが利点になるの?
 - 自分が問題解決のための目的や利点を考えているか?

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

研究の対象範囲(スコープ)

- ★ 研究の目的を達成するために、制限がついていることも多い
 - ✓ 対象とする人(男・女・年齢, etc.)、システム(Web・スマホ・ビジネスソフト, etc.)の範囲
 - ✓ 適用している手法
 - ✓ etc.
- ★ 制限は、明示されている場合とされていない場合がある

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

研究の対象範囲(スコープ)(ライバル論文だと...)

- ★ 研究の目的を達成するために、制限がついていることも多い
 - ✓ 対象とする人(男・女・年齢, etc.)、システム(Web・スマホ・ビジネスソフト, etc.)の範囲
 - ✓ 適用している手法
 - ✓ etc.
 - 対象範囲は妥当なの?
 - 対象以外の範囲について研究するとうなりそう? → 異なる対象範囲で研究ができないか?
- ★ 制限は、明示されている場合とされていない場合がある
 - ➡ 論文をよく読んで理解する必要!

Copyright (C) Junko Shiragane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

目的を達成する手段

* 論文の研究で採用している手段

- ✓ どのような手段を採用しているか?
- ✓ 採用した手段をどのように研究に適用しているか?
 - * オーソドックスに適用しているか?
 - * アレンジして適用しているか?

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2015. All rights reserved.

目的を達成する手段(ライバル論文だと...)

* 論文の研究で採用している手段

- ✓ どのような手段を採用しているか?
- ✓ 採用した手段をどのように研究に適用しているか?
 - * オーソドックスに適用しているか?
 - * アレンジして適用しているか?
 - 採用した手段は妥当か?
 - 手段の適用方法は妥当か? ➡ 他に適用できる手段はないか?

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2015. All rights reserved.

研究結果

* 研究の目的に対する、研究結果の著者の解釈

- ✓ どのような客観的事実をもとに、目的が達成されたかと著者は解釈しているか?
- ✓ 目的の中で、達成できていない部分や不十分な部分はあるか?
- ✓ 今後に積み残した課題はあるか?

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2015. All rights reserved.

研究結果

* 研究の目的に対する、研究結果の著者の解釈

- ✓ どのような客観的事実をもとに、目的が達成されたかと著者は解釈しているか?
- ✓ 目的の中で、達成できていない部分や不十分な部分はあるか?
- ✓ 今後に積み残した課題はあるか?
 - 研究結果の解釈は妥当か?
 - 本当にその結果で、著者の目的が達成できているのか?
 - ➡ 目的の達成できていない部分や不十分な部分、積み残しの課題などを研究テーマにできないか?

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2015. All rights reserved.

論文の探し方(1)

* まず最初にタイトルとアブストラクト(概要)!

- ✓ タイトル: 論文につけるタイトル
 - * 研究テーマを簡潔に表したもの
- ✓ アブストラクト: 論文の内容を短く要約した文章

- タイトルとアブストラクトをもとに、しっかり読む論文を決める
- アブストラクトを読んで、論文の概要をつかむ

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2015. All rights reserved.

論文の探し方(2)

* 電子データがある論文

- ✓ 1つずつファイルになっていることが多いので、入手は簡単

* 電子データがない論文: 掲載誌の情報をもとに入手

- ✓ ジャーナル論文: 論文誌のタイトル・巻数・号数の情報が必要
 - * 巻数・号数: 「2015年4月号」とか「Vol. 15, No. 4」など、毎月とか隔月などで出るので、番号を把握しておくことが必要
- ✓ プロシーディングス: 会議の名前と開催年の情報が必要
 - * 毎年とか隔年などで会議が開催されるので、開催年の情報が必要
 - * 場合によっては、会議の開催場所の情報が必要なことも

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2015. All rights reserved.

論文の探し方(孫引き)(1)

* ある論文で示されている引用文献を入手すること

- ✓ 論文で使われている概念や手法など:「詳しい説明は、この論文(書籍)にあるよ」と、別の文献を示している場合も多い

➡ 詳しく知りたいときは、その別の文献を入手する必要

第1章
...略...
ゴールモデル(山本, 2007)を用いて表す。
...略...

↑ すぐそばにある文献の名前(or 番号)を見る

「ゴールモデル」って何???

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

論文の探し方(孫引き)(2)

第1章

...略...
ゴールモデル(山本, 2007)を用いて表す。
...略...

- 論文の最後にある引用文献リスト(参考資料リスト)を見る
- 文献の名前を探す

引用文献

...略...
(山本, 2007) 山本: ~ゴール指向による!!~システム要求管理技法,
ソフト・リサーチ・センター, 2007
...略...

↑ 求める文献の情報なので、これをもとに入手する

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

論文の読み方(研究テーマを決めるために)

* 読むときの優先順位

- ✓ 第1章: 著者の問題意識や研究の目的、研究の利点を理解する
 - ★ 研究の利点が別の章になっているときは、その利点の章も読む
- ✓ 最後の章: 研究結果や積み残した課題を理解する
- ✓ 予備知識の章: 論文を読む上で必要な前提知識を理解する
 - ★ 前提知識が必要な場合に
- ✓ その他の章

まずは、研究として「何をしているか?」と「利点は何か?」を理解することが重要

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

論文を読み終わったら

* どこかに、読んだ内容と自分の意見、出典情報をまとめておくこと

- ✓ 論文の概要や利点・欠点
- ✓ 自分の意見
- ✓ 論文の掲載
 - ★ ジャーナルのタイトルや巻数・号数、出版年
 - ★ プロシーディングスの名前や会議の開催年
- ✓ etc.

卒論を書くときに必要になるため

- まとめておかないと、卒論執筆時に論文を読み返すことになって無駄!
- しかも、卒論では引用文献のリストの分量も重要!

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

やってみよう!

* 卒論CDの中からおもしろそうな論文を選んで、読んでみよう!

* 理解すべきこと

- ✓ 著者にとっても問題意識
- ✓ 研究の目的
- ✓ 研究のスコープ

* 考えるべきこと

- ✓ 研究の欠点
 - ★ スコープ外の内容
 - ★ 解決できていない問題点
 - ★ etc.

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.

次回

* 次回: 研究論文の探し方(図書館ガイダンス)

- ✓ 情報処理教室のアカウントが必要!

Copyright (C) Junko Shirogane, Tokyo Woman's Christian University 2005. All rights reserved.